

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	まちまど・洋光台シェアベース実行委員会
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	磯子区洋光台3丁目
提案名 (25字以内)	「食」をきっかけとしたシェア空間の立ち上げ
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>洋光台駅徒歩2分の洋光台中央団地商店街に、「食」をキーワードとして、【①訪れる方が主役となることができる②新たな繋がりが生まれ、さらなる活動の連鎖を生む③まちのハブとなる】ことを目指したシェア空間「シェアベース」を整備する。1・2階はともに、菓子製造許可・飲食店営業許可取得のキッチンと客席を整備する。1・2階にそれぞれ性格の異なる空間を設けることで、異なる活動を行う団体同士の交流やまちの新たな出会いに繋げる。</p> <p>【1階】主にカフェを始めてみたい人、自分のお菓子を販売してみたい人の場とする。多くの人が行き交う駅前空間に面した場所に設けることで、幅広い住民に発信することができる。店舗営業にチャレンジしたり、初めてでも1人でも立ち寄りやすい場が欲しいという若年層の声から、セミクローズドなキッチンと落ち着いて過ごせる客席空間を設ける。また、バックヤードには継続的な利用者が使いやすいようロッカーなどを配置する。</p> <p>【2階】主に食を通じた繋がりがづくりの場として、料理教室や高齢者・子育て層が中心的に利用する食堂として活用することを想定。こどもが外に飛び出すことなく遊べる外廊下のある2階に設置することで、大人の目が行き届く場所で活動したいというニーズに応える。キッチンはみんなで囲んで料理ができる仕様に。</p> <p>【主な整備内容】キッチン・エアコン・手洗い等設備工事／内装工事</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	<p>施設での活動は3つの利用パターンを想定している。</p> <p>①自己実現の場とその支援 食にまつわる仕事をはじめてみたい人・再開したい人の自己実現の場とする。単なるシェアベースの貸し出し利用にとどまらず、実行委員による活動の始め方のアドバイスやスタートアップ講座の実施等の支援を行う。また、「食にまつわるやってみてみたいことプレゼンテーションin洋光台」企画の実施等、まちでチャレンジする人とそれを応援したい人を結ぶ企画を実施する。</p> <p>②結び手（むすびて）による連携企画・コーディネート 実行委員を中心としたコーディネートチームは『結び手』として、人と人だけに限らず、地域にある資源と人、情報と人、体験と人を結ぶ。結び手による主催イベントの企画運営の一例として、2階でアレルギーを持つ小学校高学年の子どもを対象とした「アレルギーっ子のためのお菓子教室」、1階でその保護者と小学校に入学予定の保護者の方々の「アレルギーっ子の小学校生活」をテーマにしたおしゃ</p>

	<p>べり会の同時開催等を検討。その他、地域資源の活用や異業種スキルを持つ方同士を結ぶことにより、新たなコラボレーションが生まれる機会の創出を行う。例えば、お菓子作家と広報スキルを持った住民との連携や、磯子区や近隣エリアも含めた地域の農作物や生産者と料理講師の講座等を検討中。</p> <p>③利用者や地域交流の場 利用者間での情報共有や、疑問点・改善点の共有、コラボ企画の検討など、シェアベースの利用者同士が参加できる交流会を開催する。地域交流の場としては、新しく洋光台に転入してきた方向けの「ようこそ洋光台へ」企画の実施や、介護予防・生活支援サービス補助事業等を通じた様々な角度からの繋がりを作ることで、一人や仲間と参加しても、新たな出会いに繋がる企画を展開する。</p>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>①『食』にまつわる活動の場への願い：実行委員が所属するまちまどや洋光台地域ケアプラザでは地域活動の支援を行っている。その中で『食』にまつわる仕事への再チャレンジや小商い、地域活動を行いたいという願いが複数寄せられているが、現在洋光台内にある食の活動スペースは仕事や小商いに活用することが難しい。また無償の活動はできても住民が集まりづらい場所にあることが課題である。前述の願いや課題を発信してきたことで現在の地域の仕組みを超えた新たな場「食をきっかけとしたシェア空間」を作りたいという機運が高まった。</p> <p>②これまでの経験で繋がった活動プレイヤー同士の連携の必要性：地域活動が活発ながらも洋光台では『次世代への活動の継承』が課題である。実行委員会には複数の地域や食にまつわるコーディネーターが所属しており、それぞれがこれまで多くの活動プレイヤーと出会ってきたが、そのプレイヤー同士の接点は普段の活動では生まれにくく発展的な展開に繋がりにくいため、活動が継承されない。その課題に対し『食』をテーマに接点を生み出すことで、新たな活動の展開や洋光台の暮らしに新たな価値を継続的に生み出すことができると考える。</p> <p>③洋光台地区の高齢化率は30%を超え見守りが課題：洋光台在住高齢者の多くは一人暮らし・夫婦世帯である。その中でも親族が遠方、身寄りのない人が多くいることも特徴。そこで高齢者宅で持て余されている庭木の実を地域の子どもや若者で収穫に行きシェアベースで調理してお礼をする活動を行う等、高齢者の見守りと共に多世代交流の機会を創出することが必要だと考える。住民を中心とした『結び手』がこうした『食』に通じた活動を企画することで、行政では行き届かないゆるやかな支援に繋げることができる。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源^{注4}、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>2023年8月頃の正式オープンを目指す。</p> <p>①1次コンテスト以降に加わったメンバーも含めた『結び手』で集まり、一人ひとりの思いやシェアベースを通じて目指したい地域の将来像をすり合わせ、運営の核となる企画を練り上げる。</p> <p>②まちづくりに関心のある地域の学生を巻き込み『結び手』とチームを組むことで、整備後にも学生が活動に関わる土壌を整える。</p> <p>③シェアベース利用説明会を開催し、活動希望者と連携する体制を整える。</p> <p>④工事業者による施工後DIYに長けた実行委員や地域の工務店に協力を要請し共に内装造作を施工。またワークショップ等も開催しながら地域住民と一緒に床や壁の塗装を行う。併せて場の発信を行い運営開始後の参加・利用促進に繋げる。</p> <p>⑤不足する工事資金についてはプレイベントを複数回開催し活動の周知と共に募金を募るとともに、クラウドファンディングを実施する。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するとき連携する仲間の役割や活用する地域資源^{注4})に触れて説明してく</p>	<p>●スタッフ・体制：運営は実行委員を中心とした『結び手』が行う。シェアベースの貸し出し受付・予約は、実行委員の貸館受付の経験を活かして実施する。新規利用者には説明会を設け、場の理念や衛生管理について案内する。活動に共感・賛同する方は、結び手に加わることができる。</p> <p>●情報発信：SNS等を用いながら活動者や実施企画の情報発信を行う。また地域で企画運営しているイベントへ継続的に参加をし、情報交換を行っていく。</p> <p>●運営費：シェアベースの貸し出しにより運営費を稼ぐことを基本的な考え方とする。単なる貸し出し運営にとどまらず、実行委員による主催イベントの実施や、シェアベース利用者ほか焼き菓子作家のマルシェを定期開催(実績あり)することで、地域の繋がりを広めるとともにその出店料を運営費に充てる。また地</p>

ださい)	域施策に詳しいメンバーが実行委員に所属していることを活かし、介護予防・生活支援サービス補助事業等を行うことで運営費を捻出する。
------	---

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

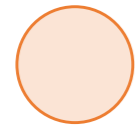
1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください	<p>①シェアベース利用希望者と地域の方へのヒアリング：さらに多くの方への周知に繋げるため、ハロウィンイベントや実行委員が企画するマルシェ出店者や来場者、まち探検の小学生にお話を伺った。どんな風にご利用したいかを記入していただいた付箋は300枚に迫る勢いでみなさんのワクワクが伝わってきた。</p> <p>②視察・調査：近隣エリアのシェアキッチン・シェアカフェを視察し、出店者の属性や来店者・街の様子などを肌で感じた。また運営者に活動の様子をヒアリングすることで、メンバー間での目線合わせを行った。</p> <p>③洋光台を含んだ区内活動者への活動周知：区内で長年活動しているNPOの代表者へ企画説明し、磯子地域づくり塾で活動周知チラシを配布。また、地域に根ざした劇団の杉田劇場の公演でチラシ折込を実施。</p> <p>④学校への活動周知：近隣の2つの高校へ企画説明訪問。1校では全校生徒へアンケート回答依頼チラシ800部の配布を行った。また、近隣の中学2年生の職業講話で企画を紹介。</p> <p>⑤アンケートの実施：活動の仲間探しやシェアベース使い方の可能性を探ることを目的に、一般向けオンラインアンケートを実施。</p>
関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)	<p>●地権者（UR都市機構）：1次コンテスト前から整備希望場所での計画内容について確認を行っており、問題ないことを確認済みである（2次コンテスト選考後に、URの施設使用賃貸申込に基づく諸審査を経る必要がある）。</p> <p>●まちづくり協議会・自治町内会：1次コンテスト前から洋光台まちづくり協議会会長・事務局長・中央団地自治会長にご説明を行っており、今後も継続して状況の共有を行う。</p> <p>●整備場所周辺の地域住民（商店会・UR賃貸住宅住民）：1次コンテスト前に商店会会長にご報告し、2次コンテストに向けてもご報告。頂いたご意見を踏まえて今後も説明を継続予定。隣接する店舗・住戸住民には2次コンテスト開催までにご報告予定。</p>
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	<p>・実行委員は多世代かつ多様なバックグラウンドと専門性を持ち、それぞれ異なるコミュニティや地域団体に所属。様々な知見や情報の交換を日頃から行える体制にある。このメンバーが『結び手』として活動を開始する。</p> <p>・シェアベースの取り組みの発信開始後、食に関する活動への声掛けが格段に増えた。例えば『こめこくらぶ』。米粉を使った活動のアイデアは地域の方が独自に口コミで伝えて下さり、続々と加わりたいという声広がっている。</p>
目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)	<p>誰しにも共通するテーマ『食』をきっかけとしてその人が好きなこと、得意なこと、苦にならないことで、ゆるく繋がれる地域を目指す。行きたい、食べたい、会いたい、作りたい、手伝いたい、挑戦したい、応援したい…そんな気持ちも結ぶのがシェアベースである。『結び手』のほんの少しのコーディネートで新たな出会いが生まれたり、ここで経験を積んだ人が地域に巣立っていくことができる。そうして巣立った人が新たな『結び手』となり場の運営に関わったり、地域内外から新たな人や情報を運ぶことで、繋がりや人材の育成が連鎖する。みんながみんなの応援団に。住んでいる人も他地域の人も心地よく過ごすことができ、いざというときに助け合えるまちになる。</p>

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

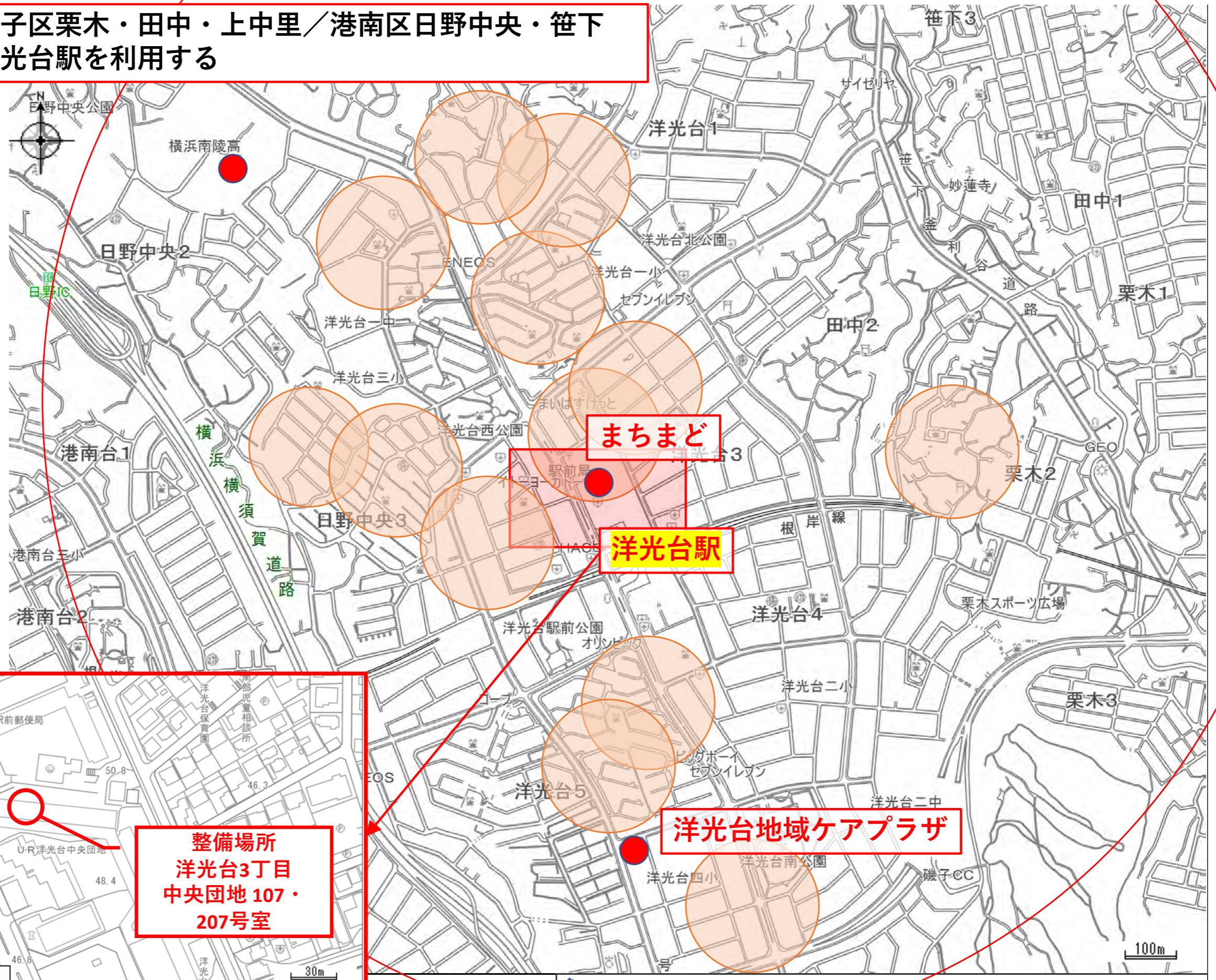
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

洋光台シェアベース | 位置図

洋光台のほかに、磯子区栗木・田中・上中里／港南区日野中央・笹下に居住する住民が洋光台駅を利用する



実行委員の居住エリア



この地図の著作権は横浜市が保有します。

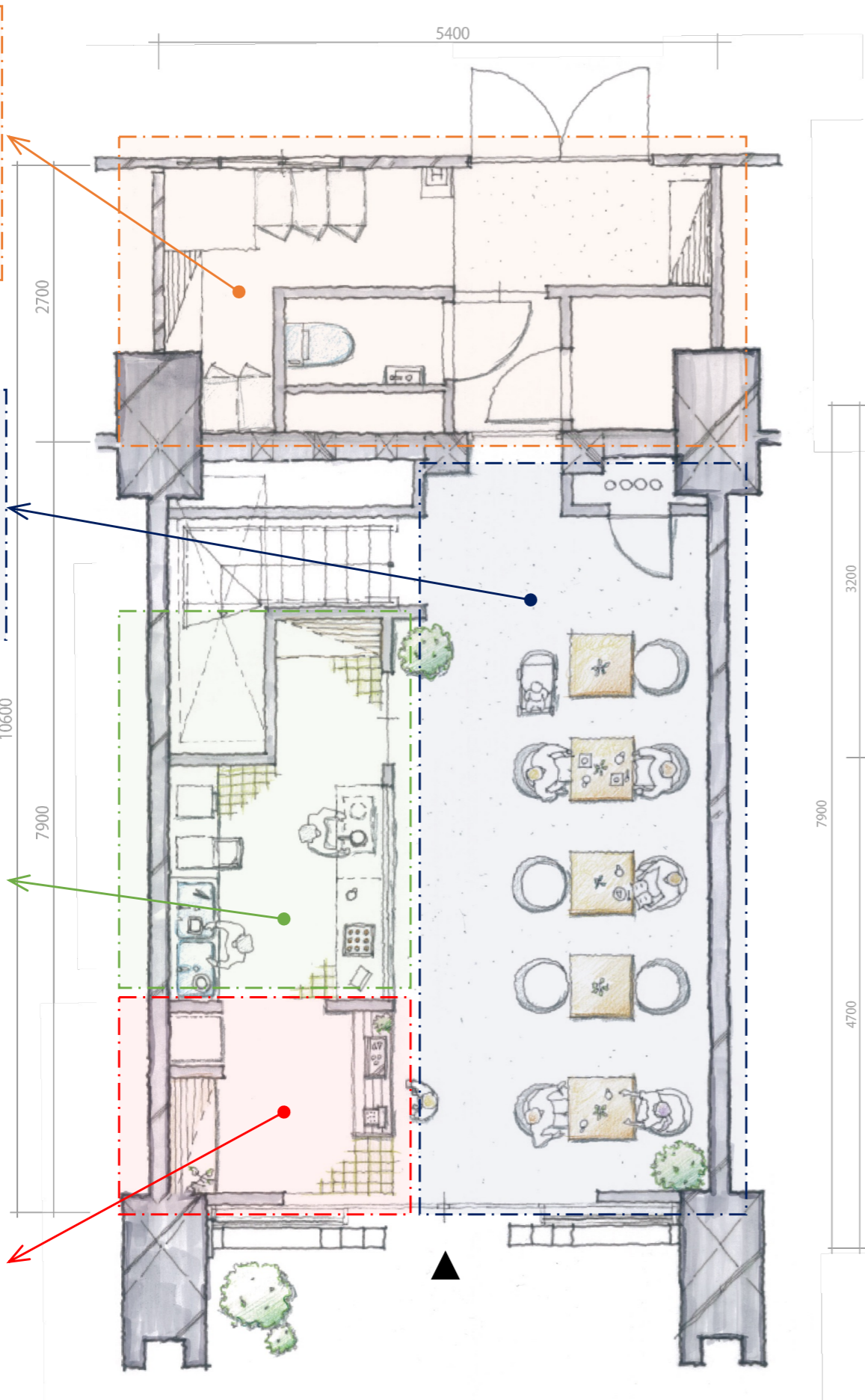
洋光台シェアベース | 平面図

<バックヤード>
 施設利用者の荷物管理・搬入経路。
 入り口外には、車を停められるスペースも用意。

<カフェスペース>
 読書をしたり、お友達とコーヒーを飲んだり、ときには仕事も。ふらっと立ち寄ることができる、地域のカフェ。

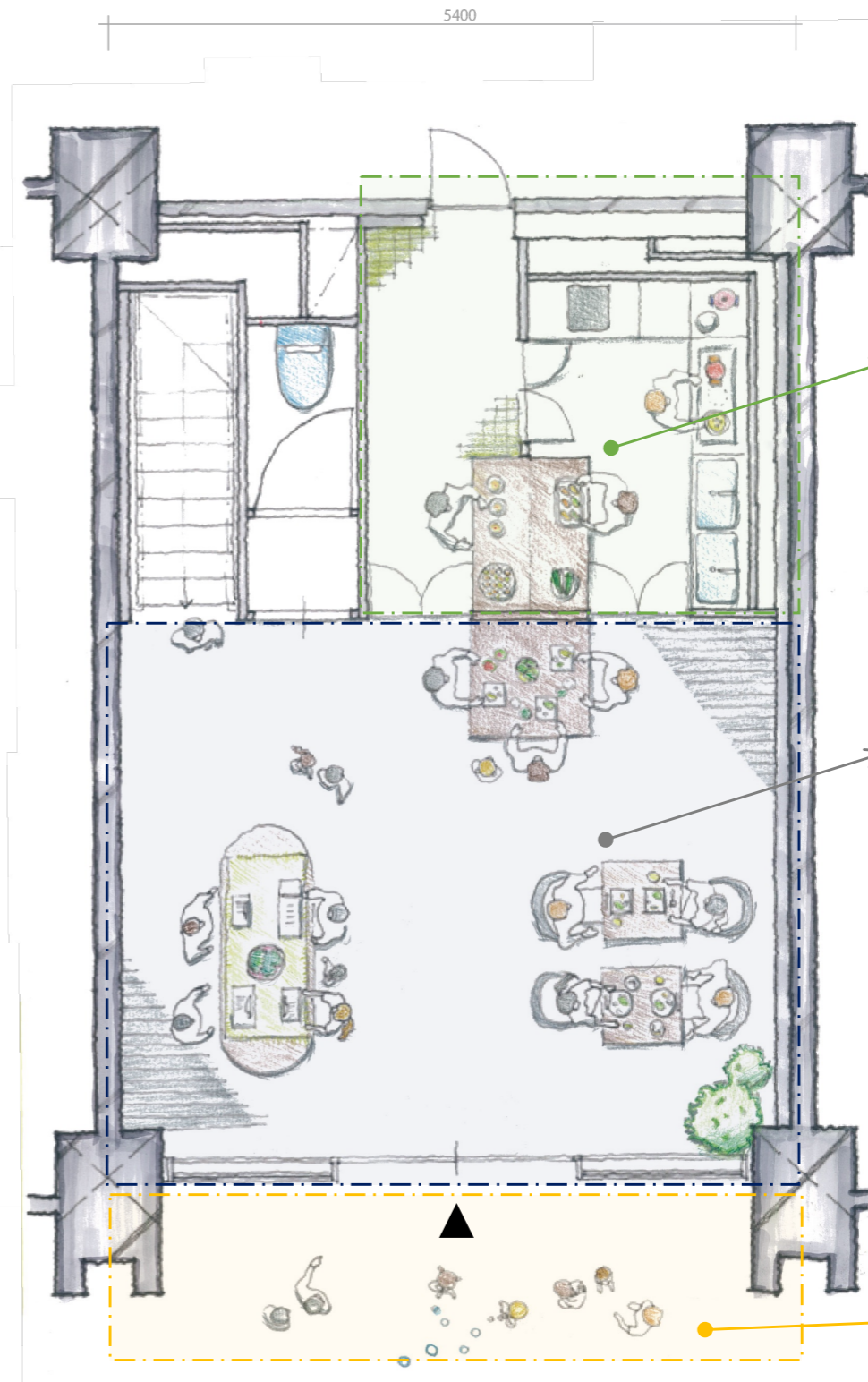
<チャレンジキッチン>
 気軽に自分のお店を出したい。趣味や好きな料理、お菓子作りをみんなに届けたい。無理なく好きな時間に出店できる、まちのキッチン。
 菓子製造、飲食店営業許可キッチンを取得予定。

<販売スペース>
 つくったお菓子を店頭販売。お菓子の感想や、洋光台の情報交換など、キッチン利用者と住民さんの会話も生まれる。



1階平面図

主な機能 | シェアキッチン・カフェ
 コミュニティスペース
 取得予定 | 菓子製造・飲食店運営許可
 床面積 | 1階 : 57.24㎡ 2階 : 42.66㎡



<まちなかキッチン>
 食を通じた地域の交流の場。料理教室や、食のワークショップ、お友達のお子さんと一緒にお菓子作り体験など、キッチンをみんなで囲む場所。
 菓子製造、飲食店営業許可キッチンを取得予定。

<まちなかテーブル>
 カフェスペースがいている時間帯にコワーキングスペース・スタディスペース・ミニ講座スペースとして利用できる。

<屋外スペース>
 ふとお友達とすれ違ったり、お話をしたり、子どもは元気に外で遊んでも、子どもから大人までが気軽に訪れることができる場所。時にはイベント利用にも。



2階平面図

SCALE | 1:50

洋光台シェアベース | 完成予想図

キッチン利用者とお客さん（地域住民）の交流

お菓子や料理を提供するだけでなく、地域の方の作品紹介や地域情報の交換など多様なコミュニケーションを生み出す。

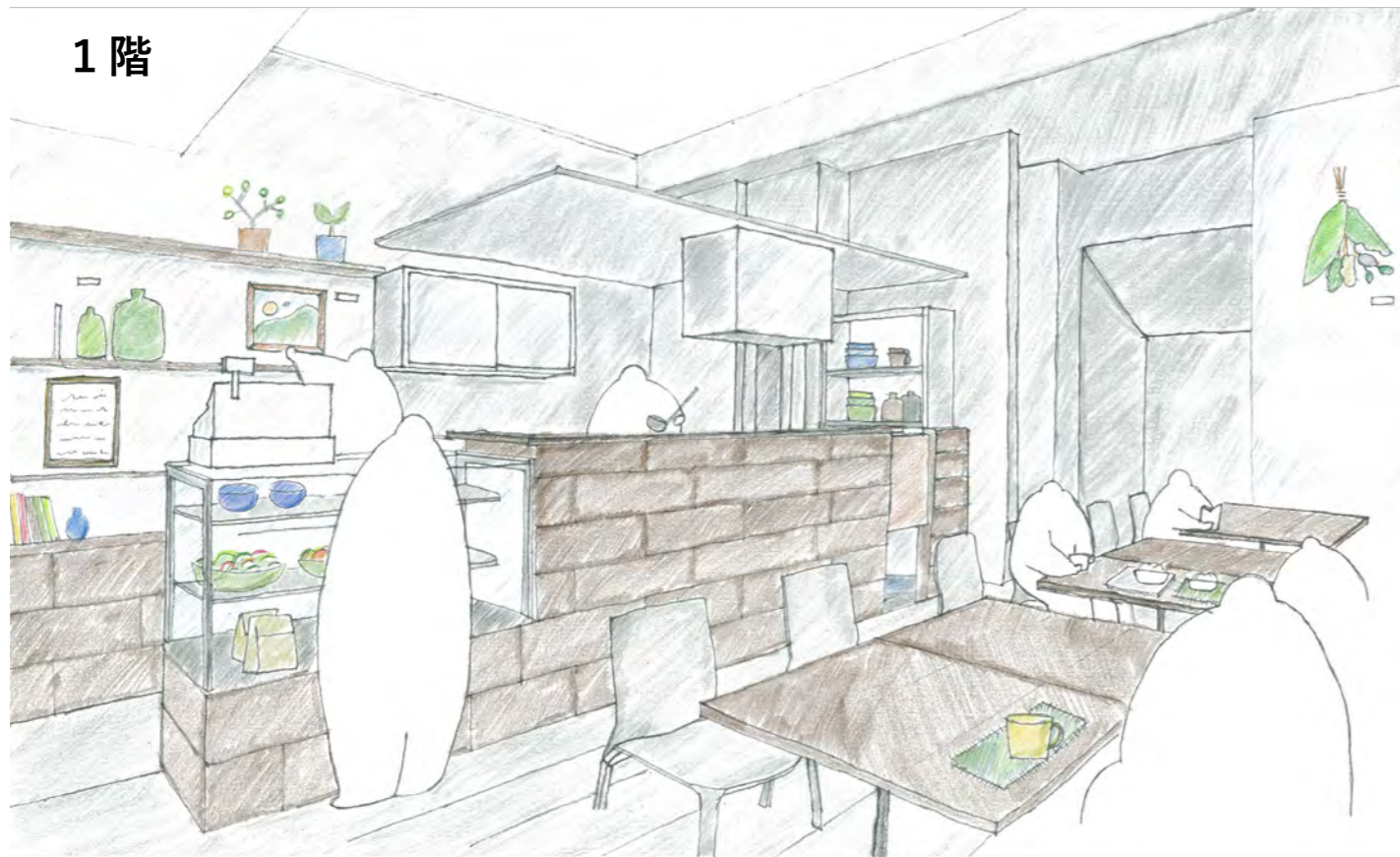
カフェを見渡せるオープンキッチン

カフェスペースとキッチンを一体に整備。「食」を通じたコミュニケーションを育む。

ふらっと立ち寄れるまちカフェ

読書をしたり、友達と会話をしたり、時にはキッチン利用者の方とおしゃべりをしたり、地域住民にとって気軽に訪れることができる場所。

1階



2階



「こんにちは」があふれるまちの居場所

ふと立ち寄ると、「こんにちは」「〇〇さん！」と自然に声をかけ合い、交流がうまれるまちの居場所。

「食」を通じたつながる場

料理教室や食のワークショップ、大人から子どもまで多様な方が訪れ、つながりのきっかけとなる場。

模型写真



<空間検討のプロセス>

①子ども食堂を洋光台で実施している方など、実際の利用者へのヒアリング・活動・空間を調査し、設計へ反映。

②模型を作成し、具体的な設計検討の実施。まちまどに関わってくれる大学生との模型作成。全体設計のみならず、備品など細かい仕様についても検討を重ねた。

ヨコハマ市民まち普請事業 想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
内装造作工事	壁材・床材の施工 (巾木・カウンター・造作棚・ビニル床シートなど)	一式	226,100	226,100	地域の工務店・住民の協力 3人×2日
建具工事	木製建具の設置 (トイレ・キッチン周り・倉庫)	一式	618,000	618,000	地域の工務店・住民の協力 3人×1日
内装仕上げ工事	塗装 (壁・天井)	一式	150,700	150,700	DIYワークショップの開催 6人×3日
設備工事	キッチン周辺 設備設置工事	一式	3,300,000	3,300,000	
電気工事	照明器具 設置工事	一式	1,600,000	1,600,000	地域の工務店・住民の協力 3人×2日
現場管理費 諸経費		一式	300,000	300,000	
合 計				6,194,800	

1次コンテスト以降の動き

令和4年

7/9

まち普請一次コンテスト

※実行委員会は全員で月2~3回、
 その他作業チームごとに集まって
 進めている

7/28

コンテスト振り返り・役割決め
 コーディネーターの選出

8/19

コーディネーター山路さま
 顔合わせ

8/26

まち普請現地見学会

8/27

見学会報告会

9/14

ステップアップシート記入
 今後のスケジュール確認

9/17

シェアベースでやってみたいこ
 とアイデアだし@ことはじめ市

9/18

まち普請活動懇親会

9/21

地域のNPOヒアリング
 地域づくり塾との
 連携について相談

9/27

大学生とおにぎり会

10/2

学生と模型づくり

10/10

学生と模型づくり

10/17

シェアカフェプラフテラス
 見学

10/17

藤棚デパートメント見学

10/20

近隣の高校2校への
 アンケート依頼

10/22

まちまど来訪者
 ご自宅で柿もぎ

10/29

現地見学会

10/30

シェアベースで
 やってみたいことアイデアだし
 @HAPPY★ハロウィンin洋光台

11/2

シェアベース使ってみたい人
 やってみたい人大集合！

11/3

磯子で活動する劇団へ
 チラシ折込

11/4

地域の方へのヒアリング会

11/10

高校へアンケート用紙お届け

この間、個別にお声掛
 けを続ける。興味を持っ
 てくださっていた方々が
 どんどん仲間に！

11/24

学生と模型づくり

11/27

Yakigashi ichi

緊張しすぎて
 この日の記憶が
 曖昧です



手先が器用で
 楽しそうに。
 見習うこと
 たくさん！



運営のリアルを
 お伺い



先生たちが
 ウェルカムで
 びっくり！



楽しい
 アイディアが
 たくさん！



率直な意見が
 たくさん
 出てきたよ！



初対面
 握りだした途端
 仲良くなった



模型を作ると
 様子が一気に
 わかりやすく！



ここで出会った
 常連の年金
 シスターズ



初めての柿もぎ
 歓声が
 あがったよ



この日
 出会った人が
 本格的に
 メンバーへ



焼き菓子の
 魅力を
 再確認！



ワークショップ/ヒアリング内容

9/17シェアベースでやってみたいこと@ ことはじめ市
10/30シェアベースでやってみたいこと@ Happy ★ハロウィンin洋光台



来場者にシェアベースの説明。どんなことをこの場でやってみたいか、行きたいかの意見を募った。
計70人参加

- ・おばあちゃんから子供に 料理を教えよう
- ・異文化料理、異文化料理教室
- ・1 DAYWORK SHOP & CAFE



シェアベースでどんなことをやってみたい?

11/2 つかってみたい人、やってみたい人大集合

既に地域で活動している方や大学生が参加。シェアベースの説明。どんなことをこの場でやってみたいか、行きたいかの意見を募った。
15人参加
回答数 82



参加者が最も共感した意見
【おかえりスープ】
お帰りなさい、今日も1日お疲れ様でしたという気持ちを込めてスープがあったらいいな。

11/4 地域の方へのヒアリング会

子育て世代の地域の方に、参加してみたい企画などについての意見を募った。
8人参加
回答数 76



参加者が最も共感した意見
【ようこそ洋光台へ】
新しく洋光台に転入してきた方向けの「ようこそ洋光台へ」お食事会。

洋光台で以前活動していた男性のお料理グループ。リーダーをやっていた人がやめたことで開催機会がなくなり、空中分解してしまった。参加者のひとりが同様の活動ができる場所はないか、まちまどに相談にきた。活動支援をすることで再開できるのではないかな。

筐下のシェアキッチンを借りてカフェ営業をしていたが、オーナーの都合で退去することに。まちまどで開催のイベントにも出展。洋光台でお店を出したい夢があり、物件を探しても断念。CCラボでキッチンがあって使えたらと思うように。

提案の背景となったエピソード

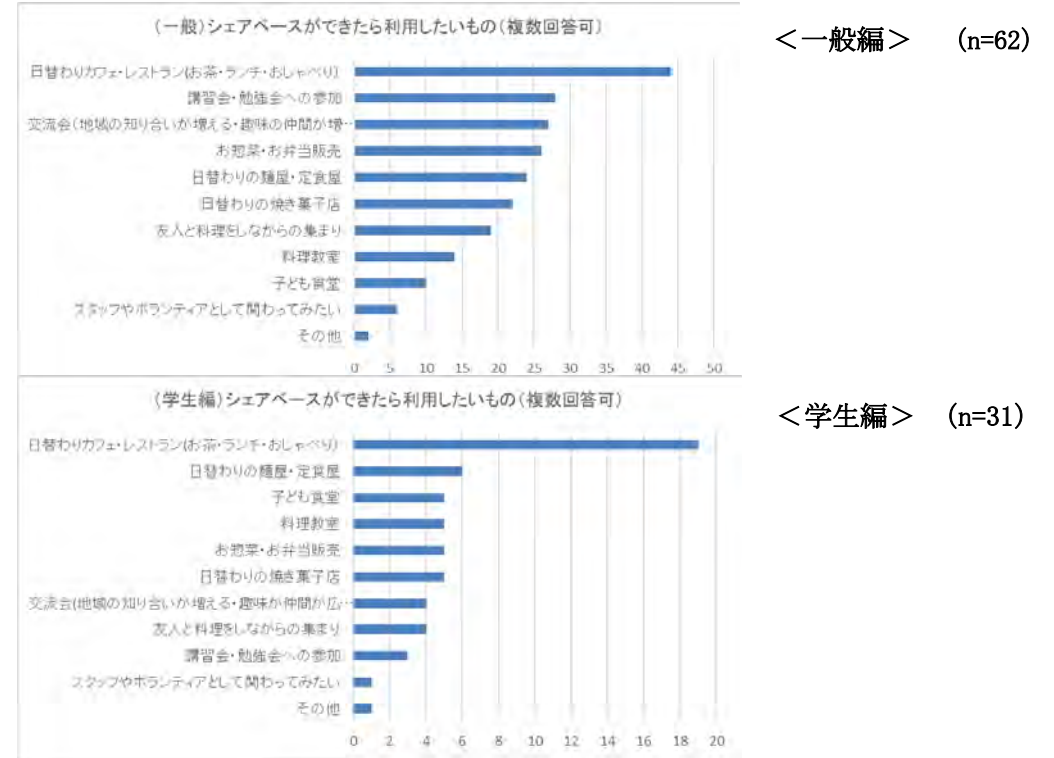
こども食堂がやりたいと物件を探していた。商店街の空き店舗を問い合わせるが断念。まちまどを紹介される。こども食堂実現に向けて、ケアプラザとまちまどでサポート。CCラボで開催の運びとなるが、許可について聞かれることが多く今は他の場所で開催。シェアベースができたらかども食堂のほかに週3でランチ営業したいと考えている。(シングルマザーなどの職支援も考えていて法人化した)

ご主人の病気をきっかけに洋光台へ転入。体調も安定してきたので、食の仕事再開したいと物件を探していたが、そこでまちまどを紹介される。食育なども考えた素晴らしい活動内容だったが、CCラボの設備上、調理は不可のためケアプラザを紹介。人気企画となっている。ただ、ケアプラザでは講師自身で部屋を借りて開催ができず、地域の北側に住む方が行きづらいという難点がある。

アンケート結果

シェアベースの活動を告知し仲間を募るため、そして活動への関心度合いを図るため一般編と学生編をそれぞれ設定し、集計を行った。

<アンケートの実施概要> 10月1日～11月28日今後も継続予定
実施方法 インターネットアンケート
回答依頼の一般向けチラシ 約1600部配布
学生向けチラシ 800部配布
名刺大カード 約420部配布
回収状況 一般編 62部 回収率3.06%
学生編 31部 回収率3.87%



結び手の広がり

実行委員が話す

人が人を結んでくれる

結び手が増えてきた

☆近隣のイベントで直接声をかけ始めたことが、結果的に中間支援的な声掛けの場となった

☆既存のシェアカフェに出店している人へお話をしにいくとそこに集まっているお客様や、別の曜日出店している方へ、結び手のようにお話をし下さり、そのまま結び手として参加して下さることになった。

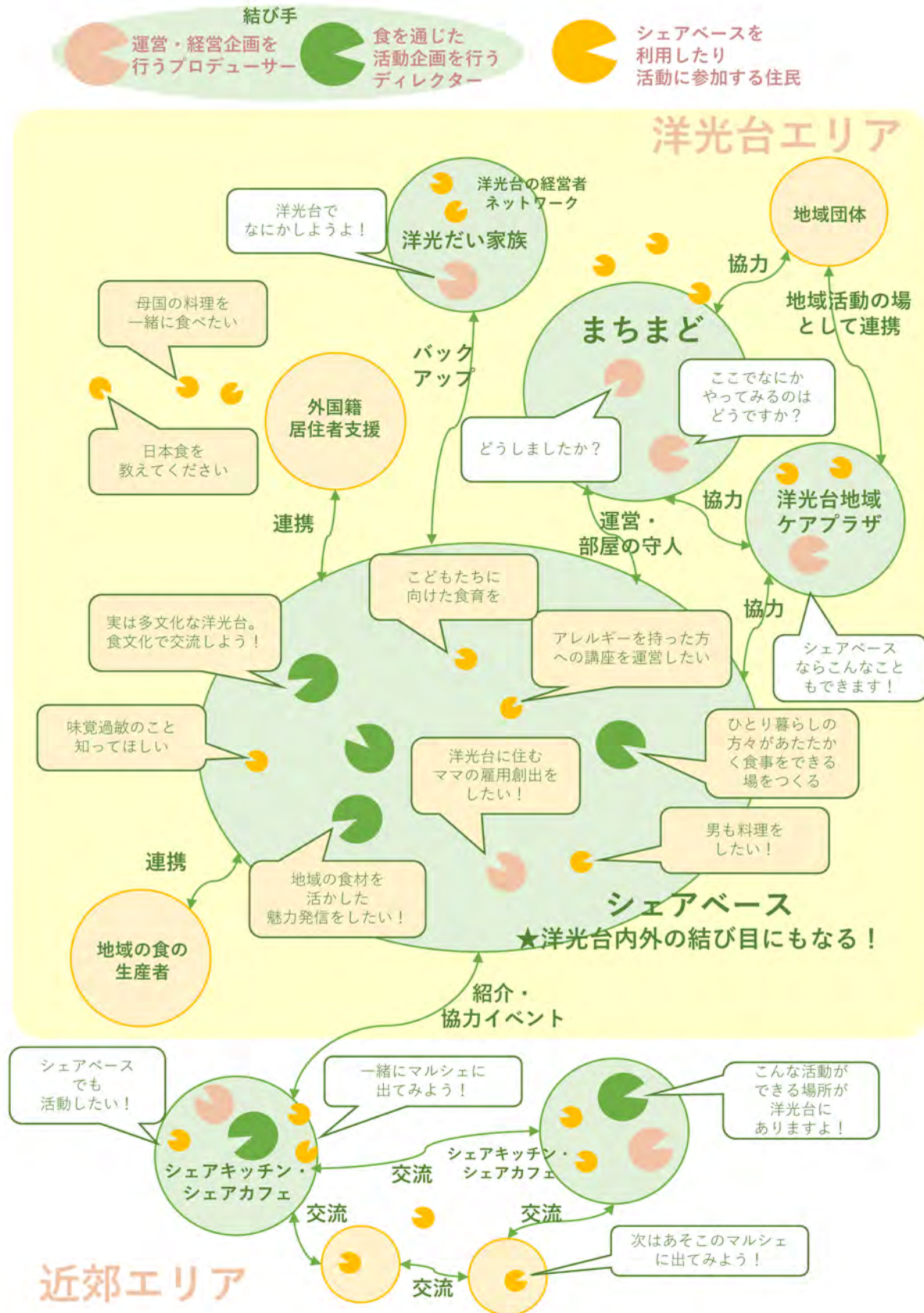
☆コミュニティカフェのイベントに参加した際に、シェアベースのことを話すと元シェフで今はケータリングの仕事をしている方がアドバイスを下さった。

☆地域に根ざした劇団の公演にてチラシの挟み込みをしたことで、洋光台だけでなく区内への周知も始まりつつある

☆洋光台の男性経営者が集まった「洋光だい家族」が協力をしてくれることになった。

☆洋光台で個人の英語教室を開いている方から、シェアベースについて英語への翻訳の協力をして頂けることになり、今、まさに食をきっかけとして地域の人が繋がりはじめていることを実感している。

関係イメージ図案



利用方法と貸し出しのイメージ

貸し出し方

	固定枠	フリー予約枠	主催・共催イベント				
	月	火	水	木	金	土	日
2階	まちなも食堂				まちなも食堂	こども食堂	結び手主催・共催イベント
1階	焼菓子・軽食 カフェ	焼菓子・軽食 カフェ	まちなも食堂	焼菓子・軽食 カフェ	焼菓子・軽食 カフェ		結び手主催・共催イベント
1階夜枠							

結び手としてコーディネートしたいこと

コラボレーション支援

- ・地域のちいさな八百屋さんや野菜生産者さんとのコラボ企画
- ・マルシェ出店者、シェアベース利用者のコラボ企画

交流支援

- 他には地域の人たちが口コミで広めて下さっている部活のような交流の場。
- ・こめこくらぶ
 - ・アジア部
 - ・くだもの部
 - ・糰部

はじめの1歩支援

何かをやりたいと思っていた方が、これをきっかけとして一緒に活動するメンバーになったり地域の活動に興味のある方とも繋がることのできた。

スタートアップ支援

- ・メニューの作り方講座
- ・お料理の写真の撮り方講座
- ・チョークで描く看板講座
- ・フライヤーの作り方講座
- ・SNSでの発信の仕方講座

シェアベースを借りている人たちへの支援

使っていく中で共有した方がよいことの情報や、疑問点、改善点などを話したり、そこからさらに自分たちだけではなく、ここからコラボ企画などが始まっているような場の設定をする。